|  |
| --- |
| 年　　　組　　　番  名前 |

○○になるには？

【　航空管制官になるには　】

|  |  |
| --- | --- |
| 必須資格や経験  ワークシートのねらい等  ◎就きたい職業に対してどのような適性が必要か考え、今、自らが取り組むべき学習や  活動について理解する。  ◎いろいろな職業について調べる。  ◎なにも手が付けられない生徒には、インターネットの職業調べのサイトを参考にさせてもよい。  ◎職業調べをさせながら、将来どのような職業で働くことのか、意識させる時間としたい。  ◎【○○になるには】の記入スペースが小さいので、工夫してご活用ください。 | 航空管制官は国土交通省所属の国家公務員。  航空機が安全にフライトするためには航空管制官の存在が必要不可欠。  悪天候の際など、パイロットは航空管制官と交信しながらその指示に従って操縦することもある。必要な資質として、記憶力と空間把握力が問われる。空間把握力は、平面のレーダーから航空機の位置などを正確に読み取るために必要とされ、記憶力は同時に複数の航空機をコントロールする際にそれぞれの状況を正確に頭に入れておくために重要となる。また、パイロットとの交信はすべて英語で行われるので英語力も必須。配属後も数カ月から数年は訓練生として実地訓練を重ね、十分な専門能力を磨いてようやく航空管制官として任命される。 |
| 主な職場 | 全国の空港や札幌・東京・福岡・那覇に置かれている航空交通管制部に配属される。全国各地への転勤も多い仕事。 |
| 向いている人 | 採用試験では航空関連の専門知識は出題されない。記憶力と空間把握力が問われる。 |
| 空港で働く共通点がある職業 | 空港業務スタッフ(グランドハンドリング)、航空整備士、マーシャラー、無線通信士 |
| 新たな疑問 | 専門学校へ進学するのか、それとも外国語系の大学へ進学するのか。  航空管制官になるのにどれぐらいの年数の訓練が必要とされるのか。 |

【航空管制官になるには】を参考に、自分のなりたい職業について、調べて発表しましょう

【　○○になるには　】

|  |  |
| --- | --- |
| 必須資格や経験 |  |
| 主な職場 |  |
| 向いている人 |  |
| ○○と共通点がある仕事・職業 |  |
| 新たな疑問 |  |

【○○になる】ために、学校での生活や学習、部活動でできることを考えてみましょう。

|  |  |
| --- | --- |
| 学習 |  |
| 生活、部活動 |  |